

## CLL

CLL (Community Learning Labo) 活動は、伊勢志摩定住自立圏を中心とする三重県内の地域課題について体験を通して学ぶ学修プログラムです。大学の講義だけでなく、現地でさまざまな体験を通して感じ、考え、話し合ったりすることで、多くのことを学ぶことができます。平成 27年のスタートから、延べ 1600 名を超える学生が現地で多くのことを学びました。

CLL 活動の詳しい情報を  
WEB サイトでチェック!



## 伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム学修成果発表会

伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラム内の講義、演習、実習及び課外活動である CLL 活動に加え、4年間の集大成である卒業論文(研究)を含めた、総合的な学修成果の発表会です。例年2月～3月に開催し、各種表彰も行っています。

### これまでの地域志向研究発表

- 「我が国のワーケーションの現状と課題について」
- 「斎宮女御徽子女王の生涯と和歌」
- 「地域活動への若者の参加について」
- 「伊勢志摩定住自立圏共生学における学び～商店街の活性化を中心に～」
- 「地方都市における公共交通の現状と課題について」
- 「海と暮らす - 伊勢志摩の文化から全国の水族館まで -」



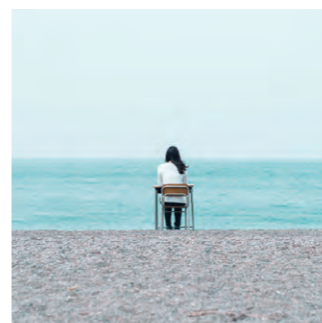
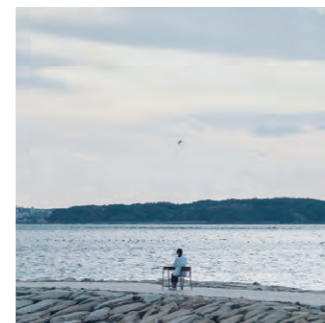
学修発表会でこれまでの成果をアウトプット



優秀なプロジェクトを表彰します

# 伊勢志摩、 という教科書。

『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムによる人材育成



「地域を知り、学び、考える」皇學館大学の取り組みは、平成 26 年度文部科学省地(知)の拠点整備事業(大学 COC 事業)に採択されました。伊勢志摩の豊かな自然と伝統文化、そこに暮らす人々とのつながりは、多くのことを教えてくれます。地域と連携し、自ら動き、新しいなにかを生み出せる。そんな存在をめざし、進化を続けます。

未来へつなぐ日本のこころ

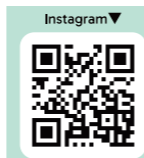
皇學館大学

https://www.kogakkan-u.ac.jp  
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704

◆ 教育開発センター 地域課題学修支援室  
TEL 0596-22-8542

◆ 企画部 地域連携推進室  
TEL 0596-22-8635

皇學館 COC 検索



機種によっては読み取れない場合があります。

# 『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム

圏域が持つ豊かな資源を生かし、持続可能な圏域の未来を考えて行動するアクティブ・シチズンを養成します。

伊勢市を中心に「伊勢志摩定住自立圏」を形成する3市5町の自治体と連携し「地域の定住機能の新たな在り方を自らの課題として捉え、行動することができるアクティブ・シチズンの育成」をめざす教育プログラム。1年次は圏域資源や課題を知ることから始め、2年次以降は「伊勢志摩定住自立圏共生学副専攻」(\*)の修了認定をめざします。3年次には実習を経験し、4年次の卒業論文(研究)へと向かいます。



## ※伊勢志摩定住自立圏共生学副専攻

地(知)の拠点大学に位置づけられる本学で学び、将来、地域で活躍するアクティブ・シチズンとして必要な学びと活動を実践するためのコースです。副専攻の修了者には修了証が発行されるため、対外的・社会的に自身の学びを証明することにより、自身の第二の強みとして活用できます。また、要件科目を履修すると、高等教育コンソーシアムみえの提供する三重創生ファンタジスタ資格を取得することができます。

## 伊勢志摩共生学演習 I・II

伊勢志摩地域の課題を理解し、効果的な解決策の提案を行う演習です。学生たちが自ら課題を調査・研究し、その内容について討論。1年間の学びをポスターにまとめ、発表します。フィールドワークやグループワークを通じて、論理的な思考や課題解決策の提案力、コミュニケーション力など、実社会で必要なスキルを磨くことができます。

### プログラムの例

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容
2	オリエンテーション	進め方・担当決め
3	チームビルディング	議論
4~6	グループワーク	発表と議論
7~8	フィールドワーク	現地にて学ぶ
9~11	グループワーク	発表と議論
12	事前練習	
13~14	グループ発表	ゲストスピーク
15	まとめと振り返り	

## 伊勢志摩共生学実習 A・B

伊勢市を中心に「伊勢志摩定住自立圏」を形成する3市5町をフィールドとして、自治体職員や住民とともに地域の社会サービスや課題解決に向けた取組等を体験します。歴史文化観光資源領域など4つの領域からコースを選択し、活性化に向けた情報発信や津波防災への取組みなど、体験を通して地域課題を学ぶ学修プログラムです。

### Voice | 実習参加学生

私は、南伊勢町宿田曾地域で開催された港まつりに参加しました。港まつりに参加し、地域の人と触れ合いながら宿田曾地域について知ることができ、多くの事を学ぶことができました。また、宿田曾地域の魅力を再確認する貴重な機会になりました。



現代日本社会学部 現代日本社会学科卒業 青木 望実さん

### Voice | 実習受入先機関

当町において地域を支える若者の流出は課題となっています。学生さんには何度も地域へ来ていただき、地域の担い手の一員となって、一緒に行事を支えるなど定住機能の新たなあり方を実践いただきました。



南伊勢町 まちづくり推進課 小山 将彦さん

## Educational program

### 地域へと広がる体系的な学修プログラム

